

## 「地域脱炭素・京都コンソーシアム」第8回検討会議 結果概要

- 1 日 時 令和8年4月23日（木）10時～12時
- 2 場 所 京都府職員福利厚生センター 第2・3会議室及びオンライン
- 3 出席者等 名簿のとおり
- 4 議 事
  - (1) 令和7年度の地域脱炭素・京都コンソーシアムにおける取組
  - (2) 令和8年度の地域脱炭素・京都コンソーシアムにおける取組について
  - (3) 今後の中小企業の脱炭素経営支援に向けた取組について
  - (4) その他
- 5 概 要

- 令和7年度地域脱炭素・京都コンソーシアムにおける取組及び第7回検討会議における意見照会結果を踏まえて、令和8年度地域脱炭素・京都コンソーシアムにおける取組に係る意見交換・議論を行った。京都ゼロカーボン・フレームワークを活用した事業者の優良事例発信や計画未達成事業者への伴走支援は、中小企業の取組 PR や金融機関単独では手の届かない部分への支援につながるのではなかったとの御意見をいただいた。一方、前回の検討会議同様に、各金融機関から行員や融資先企業の更なる理解向上が課題との御意見をいただき、今後の取組では、金融機関行員向け・中小企業向けのセミナー開催について、階層別研修の形式を設けてほしいという御意見をいただいた。また、SPT未達成企業については、原因の分析が重要であるという御意見をいただいた。
- 今後の中小企業の脱炭素経営支援に向けた取組に係る意見交換・議論を行った。「協働の場」プラットフォームで、成功事例の可視化と発信するとともに、脱炭素経営で企業価値を向上させ、人材確保や新たなビジネス機会創出につなげる重要性について御意見をいただいた。
- 京都府（事務局）では、各構成団体から頂戴した意見等を踏まえ、今年度のセミナーの開催内容や優良事例、伴走支援の実施方法を検討するとともに、中小企業への脱炭素経営支援の推進に向けて、多様な主体が参画して脱炭素経営に取り組む企業を後押しする「協働の場」創設に向け、運営方法など御意見を頂きながら立ち上げる旨を報告した。
- 「京都ゼロカーボン・フレームワーク」については、3月末時点で180件組成済みであり、引き続き利用拡大及び利用企業への支援について、各金融機関に協力をお願いした。